

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ(領域)	自然災害の被災と被災後の「二重の生活危機」を最小化する災害弱者のための地域防災研究	
研究総括	北川 慶子	
所属機関・部局・職	佐賀大学・文化教育学部・教授	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>災害時の被災の最小化を図る方法論の構築であり、高齢者と地方都市に焦点をおいた研究テーマである。研究は着実に進展しており、精力的に実践に取り組んでいる点も評価できる。東日本大震災以降、これらの研究の重要性は一層高まっており、福祉トリアージなどの介護災害防止に焦点を打ち出しているなど、今後の研究計画も充実しており、更なる成果が期待される。</p> <p>一方、今後の所要経費については、パソコン等の機器の購入費及び講演謝金が高いと思われるので、効率的な支出に努めていただきたい。また、地域の視点は重要であるが、研究成果についてより広く発信していただきたい。</p>		